

「ドンドン語ろう！ in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>■下水道整備について</p> <p>5月に上下水道局から下水道整備についての説明会の通知が来た。いよいよ下水道が整備されるのかと思ったら、下水道整備区域を見直すので合併浄化槽で我慢してくれということだったので大変落胆した。熊本市に合併してから10年経つが、上下水道を完備することは合併協議の中で議決されているのに、なぜ今更見直すのか。中央区や市中心部は大変良くなっているのに、私たちの地域にも予算を少しまわしていただき、下水道を完備してほしい。</p> <p>また、合併協議のときに、南北道路とか3号線沿いの問題などいろいろ解決されていないことが多数あるのでよろしくお願ひしたい。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>これまででも、新市基本計画の中で整備していくと説明し下水道の計画区域の説明をさせていただいていたと思う。熊本地震の災害対応も含め全体的な整備費用が増大してしまうということがあり、将来的に予定している下水道の全体計画区域では、計算すると整備に20年くらいかかることがわかった。そこで、早く利用したいという方々に20年も待っていただく方がいいのかどうか内部で検討し、下水道より合併処理浄化槽のほうを促進して合併浄化槽設置費の補助を行うほうがいいのではないかと、というように提案を行ったところである。</p> <p>今回見直しの提案はさせてもらったが、時間がかかってもいいので従来どおり整備してほしいというご意見をいただいているところなので、提案したとおり計画を見直すということではなく、いただいたご意見を持ち帰って検討させていただいているところである。時間がかかって申し訳ないが、もっと早く導入したいという方もいらっしゃると思うので、そういうニーズも含め、丁寧に皆様からのご意見を聞きながら現在検討させていただいているのでご理解いただきたい。</p> <p>南北道路などの課題については、全体的には新市基本計画の中で着々と進めているが、土木センター所長から説明する。</p> <p>〔西部土木センター所長〕</p> <p>富合の宇土南北線整備は、平成20年度から事業着手させていただいており、延長2km強の距離。事業費ベースで約65%進捗している。今年はいきいきロードの交差点部分の用地買収と工事に着手する予定で予算を確保している。現在65%ということで、あと数年かかると思うが、出来るだけ早く完成できるように鋭意努力させていただくのでご理解いただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【計画調整課 追記】</p> <p>本件について、説明会及びパブリックコメントでいただいたご意見を踏まえ、城南・富合地区の計画区域の縮小は行わない方針とする。</p> <p>【富合地域整備室 追記】</p> <p>宇土南北線については、平成30年度にいきいきロードの交差点部分の用地買収と工事に着手する予定。また、その他の主要路線については、今後も一層、関係機関等と調整を図りながら進めていく。</p>	<p>上下水道局</p> <p>都市建設局</p>	<p>計画調整課</p> <p>西部土木センター 富合地域整備室</p>

「ドンドン語ろう！ in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
2	<p>■自治会・自治協議会への情報提供について 旧富合町では区長制度が導入されており、行政組織の末端組織として運営されていたが、平成26年に自治会制度に移行した。自治協議会としてもまちづくりセンターと連携しながら行政の一端を担っているという意識で活動している。しかし、先月自治協議会のほうで必要となった地区別の世帯数を区役所に聞いたところ、教えることはできないと拒否された。理由はわからない。個人情報ではないのでこのようなことはオープンにしているのではないかと思う。 また、自治会内に市道が走っているが、道路の場所を特定できるように市道の番号を教えてほしいと尋ねたが、公表できないとのこと。市として、自治会、自治協議会に対してどのような考えを持っておられるのか。</p>	<p>〔市長〕 自治会、自治協議会の方にお世話いただいていることを心から感謝する。 地区別世帯数の状況について問い合わせいただいたということだが、教えられないということはないと思う。自治会加入は任意だが、できるだけ多くの方にまちづくりに参画していただきたいということがあがると思うので、必要な情報提供は今後させていただきますと思う。もし差し障りがあればきちんと説明させていただくが、できるだけ自治会長さんや地域の役員の方などが活動しやすいように情報提供の方法やルールも含めてまちづくりセンターと一緒に研究していきたい。 市道の番号は教えられますので、富合地域整備室に問い合わせしてほしい。</p> <p>-----</p> <p>【総務企画課 追記】 当課が把握している地区別世帯数については、補助金交付用に自治会から申告された数であったため、今回は目的外利用として外部に提供することに配慮したものであり、申請された自治会に提供同意を確認したうえで提供するのは可能である。</p> <p>【富合地域整備室 追記】 平成30年9月、市道の番号、路線名、位置図の情報提供を行った。</p>	<p>南区役所</p> <p>都市建設局</p>	<p>総務企画課</p> <p>西部土木センター 富合地域整備室</p>
3	<p>■待機児童対策について 私は妻と娘家族と住んでいる。富合町には新幹線の車両基地もでき、人口もかなり増えている。そのため、娘の子どもを保育園や幼稚園に行かせたくても満員で入れない。息子も数年前と一緒に暮らそうとしていたが、富合町は競争率が激しく、親と同居の場合はさらに条件が厳しくなる。せっかく富合町や親元に住みたいと思っても現状では住めず、保育園に入りやすい場所に出て行ってしまう。もう少し待機児童が入園でき、富合がますます発展するよう対策を考えていただきたい。</p>	<p>〔市長〕 私が市長就任してすぐは、全国の中でも待機児童が大変多く397人いて、東京の大都市と同じレベルだった。そこで私は平成27年5月に非常事態宣言として、今後受け皿を増やし、多くの皆さんに保育園等に入ってもらいたいことを宣言した。希望する園など皆さんの都合もあると思うため、区役所に利用者支援員を配置して斡旋や情報提供などを行っている。また、平成28年からは、パソコンやスマートフォンなどを使ってアクセスをすれば空き状況がわかるというシステムもつくった結果、3年連続で待機児童はゼロである。ただ、希望する保育園以外には入らないという保留児童についてはお待たせをしている状況であり、今年4月時点では403人。保留児童のほうも解消していきたいと思うが、受け皿のバランスがあるので難しいのが現状。ただ、子育て環境を整えていくことが、地域で親元に住むといったプラスの効果を生むと思うので、受け皿整備、小規模保育の整備などを行っているところである。全国の指定都市の中でも3年連続待機児童ゼロを達成している都市は少ないため状況は改善している。利用者支援員を配置しているため相談していただきたい。</p>	<p>健康福祉局</p>	<p>保育幼稚園課</p>

「ドンドン語ろう！ in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>■菰江（こものえ）区の公民館敷地の登記について 小さい集落だが一応公民館がある。その敷地は当時、農家の方が少しずつ土地を出し合っつったものである。合併前に、各地区名で登記をした地区もあるが、菰江地区は、その当時、「菰江区」として登記せず「富合町」として登記しており、今は「熊本市」ということになっているが、今後ぜひ「菰江区」として登記をしたいと思うので、そのために市からアドバイスをしていただけませんかと思っています。なかなか話が進まないと聞いているが、地元としては「菰江区」として登記できるよう頑張りたいので、よきアドバイスをお願いしたい。</p>	<p>〔富合まちづくりセンター所長〕 市が保有している土地を無償で地域に譲渡してほしいという話かと思う。財産に関する条例の中で、無償で譲渡できる条件として、もともと寄付していただいた方にお返しする場合という規定がある。ただ今回の案件は、換地によってできた土地が熊本市の名義になっているということで、換地の事実関係をどこまで詳細に確認できて、寄附とみなせるかどうか論点になるかと思う。この件に関しては手法について検討してきちんとした回答をお返しさせていただきたいと思う。</p> <p>〔市長〕 旧富合町の時代に換地になっている話なので、当時のことを調べることは難しいかもしれないが、地元の意向もよく聞いて弾力的な運用ができるかどうか検討していきたい。</p> <p>-----</p> <p>【富合まちづくりセンター 追記】 後日、地元の財産となる場合、固定資産税が賦課される可能性があること、事故等が発生した場合に管理責任を問われる可能性があること等をお伝えし、それでも所有権の移転を希望されるかを確認したところ、持ち帰り地元で再協議されることとなった。 再度の要望があった場合には総務企画課や資産マネジメント課と対応を協議することとする。</p>	南区役所	富合まちづくりセンター

「ドンドン語ろう！ in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>■市街化区域について 富合駅周辺の市街化調整区域を市街化区域に変更できないかの相談である。商業施設の誘致をしてもらい、住民の憩いの場や楽しみの場として提供ができないかと思っている。富合駅周辺は農地だけでなく、開発に向けて進めるのがいいのではないかと考えている。</p>	<p>〔市長〕 市街化調整区域の件は合併前後からたくさんご意見をいただいている。富合町の人口は合併前の平成21年が8千人強だったが現在は1万人になろうとしており、富合駅を利用される方も増えている。市街化調整区域を市街化区域にするかどうかについては、都市計画審議会などを通さなければならず、線引きの見直しも数年に一回なのでここで明確にお答えできないが、土地の利用に関してはいろいろと検討させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【都市政策課 追記】 市街化区域と市街化調整区域の区分、いわゆる線引き制度の見直しに関しては、昭和46年の線引き以降、おおむね10年毎に定期見直しを行っており、直近では平成27年に見直しを行っている。 熊本都市計画区域は、熊本市、合志市、菊陽町、益城町、嘉島町で構成されていることから、見直しにあたっては、熊本県が国土交通大臣の同意を得て、将来の市街化区域面積等を定める、熊本都市計画区域の整備、開発又は保全の方針、いわゆる熊本都市計画区域マスタープランに則して見直す必要がある。 また、既に市街地を形成している区域である「既成市街地」やおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域である「新市街地」などを市街化区域とする都市計画法の基準に基づき見直す必要がある。 このようなことから、市民からの市街化区域への編入要望については、熊本都市計画区域マスタープランや熊本市都市マスタープランの考え方、都市計画法等の基準に照らし、合致した箇所があれば、県、九州地方整備局、九州農政局等の関係機関と協議し、公聴会等の都市計画決定手続を経たうえで、熊本市都市計画審議会に諮り見直すこととなる。</p>	都市建設局	都市政策課
6	<p>(1) 本庁舎の建替えについて 現在の本庁舎は震度6強で倒壊すると新聞に書いてあった。市庁舎というのは、いかなる事態でも機能していかないとけない。いつ地震がおこるかもわからない。こういう大きな事業というのは現市長の時代でなければできないのではないかと考えている。大きな政治力と決断力をもって建替えや増強をしてもらいたいし、今どういう状況なのかを聞きたい。</p>	<p>〔市長〕 今年6月に発表させていただいたが、本庁舎は震度6強で傾く、あるいは基礎の杭が壊れるという評価が出た。もともとは市役所を長寿命化しようということで専門の業者に7千万円ほどかけて依頼し様々な調査をしてもらったものである。本庁舎の建物は昭和56年の新耐震基準ができる前のもので、なおかつ60m以上ある建物。その後基準が厳しくなっており、今の基準にはあわなくなっている状況。今の公共施設は70年使用したいということで計画を立てており、まだ37年程なので、何とかもっと使えないだろうかと考えている。 耐震補強をするとしても地下に機械や設備があって動かすことが難しいことや、電車通りを封鎖して杭を打たなければならないなど現実的には難しい部分があるというのが現状だが、市議会からももう一度確認するよう意見をいただいているため、再確認をして議会でも情報をオープンにしながら、慎重かつスピーディに対応を考えていく。</p>	総務局	管財課

「ドンドン語ろう！ in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(2) 道路整備の進捗状況について 南北線の問題において、先程土木センター所長は事業費ベースで65%と言われたが、私の感覚ではゼロである。新幹線の関連事業で東西2本を支援機構が整備したが、関連事業ということでその間の道路整備をし、東側に歩道をつくり柵をした。そういうことを含めて事業を行ったと言われていたと思うが、南北線についても10年経ってもぜんぜん進んでいない。今日、西部土木センター用地課に行って用地買収はどうなっているか尋ねたら、富合地域整備室から話がないから何も動いていないという。4年前にも市長に言ったが、熊本県道宇土川尻線はすでに出来上がっているのに、なぜ熊本市では、1件も家もない道路が10年経ってもできないのだろうか。各部署で連携をしてマネジメントする部署がないことが原因ではないか。事業主体である富合地域整備室が熊本県警、国土交通省と協議をしていないようだ。職員力の問題もあるかもしれないが、市長の号令で道路の拡幅を行い、東側に歩道をつけてほしい。</p>	<p>〔市長〕 南北線については、富合地域整備室と西部土木センターにおいて、皆さんの要望と交通の状況をよく考えて整備し、市民の皆さんが生活しやすく交通事故が起きないように地域の要望にはできるだけ対応するようしていきたい。持ち帰って、都市建設局長などとも地域の重点事項として話をしたいと思う。</p> <p>-----</p> <p>【富合地域整備室 追記】 宇土南北線については、平成30年度にうきうきロードの交差点部分の用地買収と工事に着手する予定である。また、市道清藤第5号線及び市道清藤第3号線については、本年度整備実施に向けて、熊本県警や国土交通省との協議を進めていく。</p>	都市建設局	西部土木センター 富合地域整備室
7	<p>■杉島地区の田んぼ道について 杉島地区は基盤整備もされておらず昔のまま。車も軽自動車しか通らない狭い道でこの10日間で2台の車が田んぼに落ちた。今年から整備を行うが、予算がないため100mか200mくらいしか整備できないと言われた。集落に農家は7人ほどしかおらず、3分の1は放棄地である。工事をできるだけ早くして道が開ければ、他の地区から人を呼べる。今は車も入りにくいところなので誰も応援に来ない。道を広げる工事を早くしてもらいたい。</p>	<p>〔南農業振興課長〕 本年度、杉島地区内で1箇所工事を予定している。今後は地元の要望を受けて、優先順位を確認しながら整備していく。</p> <p>〔市長〕 要望としては少しずつでなく早く整備してほしいということだと思う。予算措置も含めて早く検討していただけたらと私からも要望する。富合町は若い人が入ってくるという希望のある地域であるので、将来に向けての基盤ができるよう農水局と調整しながらしっかりやらせていただく。</p>	農水局	南農業振興課

「ドンドン語ろう！in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	(1) 道路の中心後退について 城南町においては市が買い上げており、富合については無償提供だと聞いている。公平にしてほしい。	[市長] 普通は中心後退を行った場合、土地管理者が維持管理をするが、市の道路として管理する場合は市に寄付をしてもらうということをお願いしている。合併前の旧城南町時代は、一部、中心後退後の土地の買収をしていたが、合併後はしていないのでご理解をいただきたい。	都市建設局	西部土木センター 富合地域整備室
	(2) デマンドタクシーについて 当初は月に1、2件は利用があったと思うが、最近はほとんどゼロではないかと思う。釈迦堂から最寄りのバス停まで4km程だが、行き先が限られているので、もう少し運用について再検討いただきたい。	[市長] デマンドタクシーについては、買い物や病院などの運行ルート、時間帯等、運用のルールづくりなどについて地域のニーズを踏まえて交通政策課とも一緒に検討させていただきたい。	都市建設局	交通政策課
	(3) 事業者による騒音・振動への対策について 地域に、鉄くず等を取り扱う業者があり、音がして地響きがしたり悪臭がしたりするので大変困っている。市から許可を下ろすときに、地元の同意や業者からの事前説明がほしいと思う。	[市長] 騒音や悪臭の問題ということだが、環境局からお答えする。 [資源循環部長] 有価物を扱っているということで廃棄物処理法上の廃棄物処理業者にはあたらないことになる。廃棄物を扱う業者の場合は、本市では必ず事前協議を行い、地元住民の方の同意を得る必要があるが、この業者に関しては有価物を扱っているということで、その規制の対象とはならない。 そのため騒音・振動規制法の面から規制、指導を行っており、騒音苦情があった場合に環境政策課で測定を行い、基準を超えていたらその都度指導を行っている状況。ただこの場所は市街化調整区域であることから建築行為が規制されている。そういった観点から都市計画法上の指導を行ったり、違反建築物があれば、その都度開発景観課で状況調査や指導を行っているところである。	環境局 都市建設局	環境政策課 開発景観課
9	■公園整備について 熊本市に合併したことで宅地開発がずいぶん進んで、子供が来ても遊び場がない。子供の遊び場や駐車場を含め、公園整備をしていただきたい。予算がないなら知恵を出せばよい。自分の土地を提供してもいいという人もいる。未来の子供たちの安全のためにもよろしくお願したい。	[市長] 富合校区は、熊本市の身近な公園面積である一人あたり1㎡という基準を超えており、全体的に公園はある状況。熊本市全体で公園・広場は1000箇所を超えているため、新規の公園整備ではなく、既存公園の維持管理をせざるを得ない状況であるということをご理解いただきたい。 一方で、地元で管理するまちの広場の制度もあるため、まちづくりセンターにご相談いただきたい。公園の話はどこの地区でも出る意見であるが、中には公園や広場すらない地域もある。そういう地域の子供たちへの対応も苦慮しているところもあるため、まちの広場というのが一番近道かと思っている。	都市建設局	公園課

「ドンドン語ろう！ in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	<p>■防災無線の設置について 昨年のドンドン語ろうでも要望したが、富合町の中には新幹線の軌道から西側には防災無線がついているが、あとは防災無線がついていないため、これまでも設置要望をしているが返答がない。同じ富合町の中でもついているところとついていないところがあることに不信感がある。特に富合町には、浜戸川という危険な川がある。堤防が決壊する可能性もあるため城南方面と同じように防災無線の設置を要望する。</p>	<p>〔市長〕 防災無線は、高潮地域や土砂災害危険箇所を設置することになっているため、今のところ上杉地区には防災無線の設置ができないということで、防災ラジオを2000円で購入していただくようお願いしている。浜戸川は台風や大雨のときには非常に危険なことがあるため、今は携帯電話などへお知らせするエリアメールなどを配信させていただいている。今すぐ防災無線をすべての箇所に設置するのは難しいことをご理解いただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【危機管理防災総室 追記】 防災行政無線での放送の他、近年普及率が高まっている携帯電話への「エリアメール」や「熊本市災害情報メール」の配信、「緊急告知ラジオ」による放送、テレビのテロップをはじめとしたマスメディア、熊本市のホームページ等と多様な手段を用いて発信している。 当該地域は防災ラジオの電波が良好なエリアで、メール等の受信も可能であることから（テレビ等の情報も含めて）防災行政無線を拡充することの必要性は低いと認識している。</p>	政策局	危機管理防災総室
11	<p>■スポーツ施設における機械について 私は運動が好きで毎日スポーツジムに行く。富合地区にはトレーニングセンターはあるが、運動をするための機械がない。私たちの世代になると機械を使って筋力トレーニングをしたいので、少しでもいいから機械を買っていただきたい。健康サロンの中では100歳体操などをされているが、もう少し若い年齢の人のためにも力を注いでほしい。</p>	<p>〔市長〕 これから高齢化の時代を迎え、元気に健康で長生きしてもらうことは大事だが、すぐに機械を購入するということとはできない。例えば他の施設などで中古で使っているマシンがあるか聞き取ってみることなどはできるかもしれないので、ご要望は受け止めさせていただく。運動や健康づくりは非常に大事だと思うので、整備については今後も考えていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【スポーツ振興課 追記】 トレーニングセンターとは、富合雁回館のトレーニング室のことかと思われるが、このトレーニング室は、より多くの方が多目的にご利用いただけるような設定とさせていただいている。スペースの問題もあり、全ての体育施設にトレーニング機器を設置するのは難しいことから、近くの城南総合スポーツセンターやアクアドームにはトレーニングジムを設置しているため、そちらをご利用いただくようお願いしたい。</p>	経済観光局	スポーツ振興課

「ドンドン語ろう！ in富合」 平成30年8月22日 アスパル富合 意見交換内容 参加者：60名

No.	ご意見	回答	局	担当課
12	<p>(1) 小学校の通学路について 富合小学校の子ども達は集団登校で通学しているが、莎崎（こうざき）地区は学校までの距離が3.9 kmもあるので集合時間が午前7時。冬場などは懐中電灯を持たなければいけないほど暗い。3.9 kmといえば、市役所から電車通りに沿って健軍方面まで行くと、健軍神社の参道の鳥居のところまでである。それまでに小学校はいくつあるだろうか。莎崎地区の子ども達は1年生の子も歩いていっている。同じ熊本市の小学生でこのような差があってもいいものだろうか。そこで、スクールバスなどの対応ができないものかと思っている。</p>	<p>〔市長〕 3.9 kmということだが、市役所から我が家までが4 kmで、歩くと40分位はかかる。やはり4 km近くあるのは遠いと思う。なかなかスクールバスの導入について今すぐ答えられないが、教育委員会のほうにも話をさせていただきたい。子供たちの通学環境については危険防止のこともあるため検討させていただく。</p> <p>-----</p> <p>【学務課 追記】 通学距離について、学校の位置によっては3 kmを超えて通学する児童もいる。本市では、「学校規模適正化基本方針」において、小学校は概ね4 km、中学校は概ね6 kmとする通学距離の基準を定めているところである。現在、スクールバス運行は、学校統合等による4 kmを超える遠距離となった児童の通学のために行っているため、ご理解いただきたい。</p> <p>【健康教育課 追記】 通学路の安全確保については、通学路合同安全点検を実施しており、その枠組みの中で、警察、道路管理者等の関係機関と対応策を検討する。</p>	<p>教育委員会事務局</p> <p>教育委員会事務局</p>	<p>学務課</p> <p>健康教育課</p>
	<p>(2) 排水路及び排水機場について 生活排水路、農業排水路があるが、ヘドロが溜まって流れが悪いのでなんとか対応してもらいたい。私は、毎年ハウス栽培をしているが、排水機場はあるものの、浸水して全滅したところもある。排水機場の増設を関係機関に頼んでいただきたい。</p>	<p>【南農業振興課 記載】</p> <p>・排水路の件について 富合西部地区の排水路は、土水路が多くあることは承知している。排水路の整備については、国や県の補助事業を活用しつつ計画的に整備しており、莎崎地区についても国や県の補助事業を活用できる水路は、既に本市の事業管理計画に位置づけており、市単独事業も含め市全体として計画的に整備を進めていきたい。</p> <p>・排水機場の増設の件について 莎崎地区に設置されている莎崎排水機場は、昭和62年に県営土地改良事業により周辺の農地187haを受益農地とし、10年に1度の確立で発生する大雨でも農地が湛水しないよう計画し設置されたものであるが、想定以上の大雨が降った場合は湛水することもある。 現在、施設の維持管理は熊本市、運転管理は緑川南部土地改良区で役割を分担しており、今後も連携して適切な管理を行い、湛水被害の防止に努めていきたい。</p>	<p>農水局</p>	<p>南農業振興課</p>